

中心地域整備に関する調査特別委員会（第 7 回）

日 時 令和 2 年 3 月 1 9 日（木）

1 3 時 0 0 分～1 3 時 4 3 分

場 所 議会棟 議場

出席者 委員長、副委員長、委員 7 名（欠席：なし）（傍聴者：なし）

山本議長

説明員 丸山副町長、實延企画課長、榎尾参事、坂本農林課長、岸室長

書 記 川上知也主事、花倉事務局長

○大西委員長 皆さん、こんにちは。10 人の委員全員出席ですので、ただいまより中心地域整備に関する調査特別委員会を開会致します。本日は、午前中は日南小学校の卒業式がありました。新型コロナウイルスの対応で縮小されて、保護者の皆さん本当に関係者のみの卒業式になったと思います。まずは、卒業される皆さんと保護者の皆さんにおめでとうと言いたいと思います。それで早速ですが、今から報告・調査・協議事項に入りたいと思います。最初に 1 番としては、道の駅にちなみ日野川の郷の運営状況等について。2 番目に、生山定住団地の状況について。3 番目に、その他という項目で進めたいと思います。では最初に、1 番の道の駅にちなみ日野川の郷の運営状況につきまして、執行部からのご説明をお願いします。榎尾参事。

○榎尾参事 そうしますと道の駅にちなみ日野川の郷、運営状況のファイルの方をお開きください。2 月末現在の売り上げ状況になります。1 ページ目をご覧ください。直売所 5,884 万 7,000 円、レストラン 2,101 万 3,000 円、トマト加工 856 万 9,000 円、合計 8,842 万 9,000 円となり、昨年度同時期と比較致しまして約 3.5%の増となっております。引き続きレストラン部分の伸びが大きく、対前年度と比較致しまして約 7.8%の伸びとなっております。ただし、表の上から 3 段目をご覧ください。売上の下に、うち出荷者というような形で掲載させていただいておりますが、出荷者様からの売上という観点だけで見ますと、昨年度と比較しまして約 10%の減少をしているところでございます。EVI、レジ通過につきましてはご覧の通りとなります。加工実習室、多目的ルーム、軒先につきましてもご覧ください。軒先の方、件数 0 とし

ておりますが、㈱サクセスの単独での軒先の利用、または出荷者協議会との軒先、合同での利用という形でみますと、2月末までで約63回軒先を使つてのイベント等を開催されているところです。2ページをお開きください。2ページ、3ページにつきましては、売上推移をグラフにしたものになります。提出させていただいております資料のグラフの月が若干ずれておりまして、大変申し訳ございません。昨年対比につきましては、12月の中心地域の特別委員会の折にも説明させていただきましたが、その時点までは昨年度との昨年対比が下回るような状態になっておりましたが、12月からの売上を見ますと、12月、1月、2月と昨年度を上回っているような状況でございます。個別の売り上げ状況でございますが、4月から2月までの状況で、野菜、果物類につきましては昨年度同時期としまして約220万円減の780万円。加工食品につきましては320万円増の3,500万円、また飲料につきましても昨年度と比較して100万円増の520万円となっております、野菜等の素材に比べて加工したものの方が売り上げが伸びているような状況となっております。4ページの方をご覧ください。こちらは平成30年4月以降の直売所の売上に対しまして、出荷者協議会の売り上げの占める割合を示した棒グラフとなっております。全体を通しまして、令和元年度平均しまして全体売上の約45%程度が出荷者協議会の売上となっているところでございます。続いて、レストランについてご報告させていただきます。レストランの増築工事につきましては、7月の臨時会におきまして予算の方を議決していただいたところでございます。1月末に完成致しまして、昨日3月18日から拡張した部分にテーブルを置きオープンさせていただいているような状況でございます。拡張部分の状況でございますが、4人席が1組、2人席が2組、計8席、今現場は8席ということでオープンさせてもらっているような状態でございます。オープンにつきまして遅くなってしまい、大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。なお、レストランの本日の状況でございます。お昼時点ということで、テラス席の方は全て8席埋まっているような状態をご利用させていただいております。また既存の席につきましては、8割程度のお客様に使っていただいているような状況でございます。今後はテラス席につきましては、4人掛けのテーブルを3組、2人掛けのテーブルを1組の計14席。既存32席と合わせまして合計46席として、多くの皆さんに使っていただけるレストランとして活用していきたいと思っております。また、お客様の待ち時間の時間短縮を図るために、最初にご不便をおかけするかもしれませんが、3月末からレストラン

に券売機を導入したいと思っております。券売機導入の折には、スタッフが対応してお客様の案内をさせていただければと思っております。最後に、新型コロナウイルスによる営業に対する影響でございますが、現時点で昨年と比較して大きな数字の変動はございません。ただし、今年の2月と比較した場合、2月の休日の1日当たりの売り上げが、直売所におきましては約20万円を超える日が何日か記録されておりますが、今月に入ってから最高で18万円と約10%の売上減となっているような現状でございます。レジ通過者におきましては約20名程度の減ということで、コロナウイルスの影響もあるのではないかと考えているところでございます。感染予防に関しましては、レストラン、直売所のスタッフ含めまして、マスクの着用ですとかアルコール消毒をしているようなところでございます。また店舗内につきましては、換気などを行って感染拡大の防止に努めているところでございます。またトイレにつきましてですが、ただいまジェットタオルの方を停止させていただいております。ジェットタオルによる水しぶきが飛ぶことを防ぎまして、感染拡大の予防の方に努めているような状態でございます。

○大西委員長　今の運営状況につきまして、皆様方からご意見ございましたら。質問等。岡本委員。

○岡本委員　気になるのは、出荷者の方の売上ですね。全体として落ち込みがあるということは予想通りなんですけれども。せっかく4ページにグラフを作っていたので、私なりにそのグラフのちょっと特徴をいくつか見てみたんですけれども。最初の開始の時点としては、29年度に出荷者協議会の年間売り上げが約3,800万円だったのが、30年度は3,100万円に落ち込んだというところがありまして。4ページに出ているグラフの30年度の4月から31年1月までというところなんです。ただ見てみますと、30年度でも4、5、6、7月と9、10月というところは、出荷者協議会が50%を超えていまして、まだこの辺りは頑張っているという感じがします。その後11月以降ですね。30年11月以降は、ずっと出荷者協議会の出荷というのが半分を切っていることがほとんどで、唯一31年10月だけは半分以上になっています。これはおそらくお米、新米が出た効果かと思うんですけれども。ということで言ってしまうと、その30年11月以降ですね、非常に運営方針があまり良くなかったということが、出荷者協議会の方と㈱サクセスの方との信頼関係という面もありましょうし、そもそもの運営方針で出荷者の物をあまり出していなかったというような問題もある

のかと思います。それでただちょっと注目していきたいのはですね、31年12月以降なんです。つい最近のことなんですけれども。31年10月以降、今もご指摘もありましたけれども、全体としての売り上げが前年よりも上がってきております。それでもう1つ注目していただきたいのは、実はその4ページのグラフで出荷者協議会からの売り上げも前年を超えているということで。1月、2月についてはですね。12月はちょっと違いますけれども。1月、2月については、出荷者協議会の方の売り上げも前年は超えておりましてですね。それでお話を聞くと、駅長さんもこの頃結構柔軟に対応してくださっていると。それで駅長さんがいないことも多いらしいんですが、その場合にはスタッフの方が対応されているということで、だんだんその状況としては改善されてきているのかなというような感じが私はしてるんですけれども。だから問題は、すみません。ちょっと長くなって申し訳ないのですが。

○大西委員長　質問をね、的確にお願いします。短く。

○岡本委員　これから特に4月以降、やっぱり野菜が増えてきてですね、出荷者協議会の方としては売上を伸ばすチャンスになってくると思うんですけれども。それで高齢化の影響などもあって、出荷者協議会の出荷の能力が落ちているというようなお話もありますけれども。実際、平成29年は3,800万円。野菜だけじゃなくて、加工品等もいろいろあると思うんですけれども。そのくらいのおそらく自力は持ち合わせておられるので、是非これからその出荷者協議会の売り上げ増を目指していただきたいんですけれども。その中で、これからの出荷販売の計画というようなものは立てられているのか。立てていたら教えていただきたいんですけれども。

○大西委員長　坂本農林課長。

○坂本農林課長　出荷者協議会の動きでございますけども、出荷者協議会として総会の方は例年3月に行っていて、そこで来年度の計画等ですね。予算のことだったりとか、そういったことを総会にかけるんですけれども。今年度の総会につきましては、コロナウイルスの関係もありまして紙面総会ということで、書面決議ということは今する予定でおります。その中で、出荷者協議会の来年度の方針としまして、引き続き例年のような格好で道の駅に出荷をするというところで、その出荷の圧を高めていこうということ。それと道の駅の方とですね、今、委員も言われましたけども、共同して道の駅を盛り上げるというところでイベントの共同開催等も含めまして、連携しながら運営をしていくというところを考えております。その販売額というものの具体的

な目標という数値は掲げておりませんが、会員さん1人1人にお声掛けをする
なりして、出荷に努めるというような体制を考えているところです。

○大西委員長 岡本委員。

○岡本委員 引き続き是非やっていただきたいと思います。それでちょっと細かいこと
ですけども、具体的に誰がどの野菜を作っていて、どの時期に出荷出来るというような
ことがあると思うんですけども。そういった具体的な出荷の計画というようなもの
はどのようなのですか、これから作られるのでしょうか。どのようなのでしょうか。

○大西委員長 坂本農林課長。

○坂本農林課長 どなたがどういった作物を作られるかということを事細かに、正
確に全てを把握しているということはないので。基本的には作っておられる各部会が、
加工部会だったり生鮮部会だったりというところがありますので。その中で、この時
期にはこういうものが出来るので販売をというような格好でお願いしているという
ところ。最初に、今年あなたは何を作られますかというような格好で水稻の取りま
とめというようなことまではしておりませんので、一応年間日南町ではこういうもの
が取れてこういう実績があるので、この時期にはこういうものが良く売れていますと
いうことについては、出荷協議会の中でも運営側の方から情報をもらったりして、こ
ういう時期にはこういう野菜が良く出ているということで。そういった情報を持って
おりますので、そういったところを共有しながら前年度の実績等も踏まえて販売を強
化していきたいと考えております。

○大西委員長 古都委員。

○古都委員 提案というか、伺ってみたいと思うんですが。先ほど説明でコロナウ
イルスの対応をしておるという話がありましたが、私最近、道の駅で昼食をとってお
るんですけども。あの箸ですね。箸入れ。2本取ればいいんですけども、何本にも
手が当たるんですよ。それでこういう時期でしたら、割り箸あたりの方が清潔感も
あると思うんですが。そこの辺りについての考えをお伺いいたします。

○大西委員長 榎尾参事。

○榎尾参事 ありがとうございます。委員がおっしゃられました通り、箸についま
しては、今箸入れの中にたくさんの箸が入っていてそこから手で取って食事をとって
いただくということになっております。それで衛生面も踏まえまして、今委員の方か

ら提案がありました話を道の駅の方と共有して対応を検討してきたいと思います。ありがとうございます。

○大西委員長 では、よろしいですか。山本議長。

○山本議長 先日、道の駅を訪ねた時にですね、意見と言うか、質問をいただきました。ちょっとここをお願いと言いますか、お尋ねをしたいんですが。道の駅のトイレですけど。トイレの掃除道具が、入って行って女性の突き当たって左に入った先にあると。女性のトイレの入り口の所に置いてあるということで。男性の方がその道具を取り行く時に、少し変な顔をされますと言うか、女性のトイレの所から出て来られるので。置き場所をちょっと考えてもらえないかということがありました。それともう1つ、男性のトイレの看板が入って左にあるんですね。入ってすぐ目につけばいいんですけど、左を見ないと看板が分からないということで、まっすぐ行かれる方があるということなので。その辺の看板の向きと言いますか、位置。それと授乳室がかなりデザインが凝ったカッコいいデザインなので。授乳室というのがなかなかわかりにくいデザインのものでして。その辺ちょっと考えていただけないかという意見をいただきました。また執行部の方で検討していただければと思います。

○大西委員長 榎尾参事。

○榎尾参事 ありがとうございます。先程、提案いただきましたことに関しましては、現地を確認して対応出来るように検討してきたいと思います。ありがとうございます。

○大西委員長 久代副委員長。

○久代副委員長 先ほどの出荷者協議会との関係で、ちょっと今一度確認をしておきたいんですけども。これから葉物野菜が出る時期になるんですけども、生産者と道の駅との情報のやり取りは、以前にも聞いたことがあるんですけども。例えばメールとかLINE、今はLINEとかそういうすぐ情報が発信出来て、例えば今日は午前中でほうれん草が品薄になったとか、大根や白菜がとかいうそういう情報を、すぐ掘って出せる状況ではないと思いますけども。ある程度ストックされている人はすぐ出荷出来ると思うんですけども。その点についての生産者と道の駅との連携は、具体的にどういう手法でやっておられるかということを再度確認したいと思いますが、どうでしょうか。

○大西委員長 坂本農林課長。

○坂本農林課長　　なかなか委員が言われますように、レスポンス良く出来ているかというところはあるかと思えますけども。休みの日になどで、たくさんの来場者があって販売があるような時には、メールだったりというところで、全体に一斉に送信する際にはメールという格好になるかと思えますけれども。それ以外のことにつきましては、特定の方がこういったものを出しておられるということであれば、電話連絡等をさせてもらって。やっぱりお客様が午前中の動向等を見ながら、よく来られてどんどんと物が出ると。言われるように葉物の時期になってたくさんあって、あるけれどもどんどん売れるというような場合には、そういった連絡等もさせていただいていると記憶しております。

○大西委員長　　いいですか。岡本委員。

○岡本委員　　まずその出荷者協議会との関係で、ちょっとレストランの方への出荷はどうなっているか確認させてください。教えてください。

○大西委員長　　榎尾参事。

○榎尾参事　　レストランにつきましては以前報告させていただきましたが、出荷者協議会からの仕入れというのを始めたということでお話しさせていただいた経過がございます。その後、レストランのシェフと出荷者協議会とのやり取りの中で入れてきた経過がございますが、11 月末にメインでされておりましたシェフが辞められた後、一旦停滞した時期がございます。その後、今現在という状態でございますが。従来やらせていただきました通り、出荷者協議会からの例えばキャベツですとかそういうものをレストランの方で活用して提供させていただいているような状態でございます。

○大西委員長　　岡本委員。

○岡本委員　　その量的なことは、なかなか分からないでしょうか。

○大西委員長　　榎尾参事。

○榎尾参事　　申し訳ございません。しっかりとした 1 日あたり何が何 kg というところまでは把握しておりませんのが現状です。

○大西委員長　　岡本委員。

○岡本委員　　そこまで何が何 kg まではなくてもいいのかもしれないですけど。ざっくりと月にいくら分とかということが分かれば、さらに道の駅のレストランとしてもこれだけ地元に寄与しているということのアピールにはなるかなと思ったんですけども。もちろんレストランについては、指定管理でも何でもないので。(株)サクセス

が、いやそんなものを出したくないと言ってしまえばそれまでなんですが。どうでしょう。その寄与のアピールとして出していただくということも考えてもらったらどうかと思うんですが。

○大西委員長 榎尾参事。

○榎尾参事 先程、委員からご質問のありました点につきまして、再度道の駅とも話をする中で、聴き取れる範囲ということになるかもしれませんが話を進めていきたいと思います。

○大西委員長 岡本委員。

○岡本委員 是非よろしくお願いします。それとちょっと別の事というか、別のことでないんですけれども。そのレストランの増築のことについてですね。3月18日オープンですか。オープンということで、冬の間結局その増築部分は使えなかったということなんですけれども。冬の間の増築部分の効果というのを、どのように考えておられるかということをお聞きしたいんですけれども。つまり夏の間、このグラフを見るとですね、大体最大で1,700から1,800人ぐらいですか。毎月。大体そのくらいのキャパシティがあって。つまり増築しなくても、そのくらいは収容出来ていたということなわけですね。冬の間はそれよりも全然客数が落ちてしまって。つまりその増築部分というのは、元々その冬の間はなくてもよくて、夏の部分だけでその増築部分の効果を期待しているというものなのか。それともやっぱり冬の間も増築部分が必要なくらいにお客さんを入れるよという、そういうつもりでやっているのかというような、その辺りをちょっとお聞きしたいんですけれども。

○大西委員長 榎尾参事。

○榎尾参事 増築工事に関しましては、本来であれば平成31年の当初予算に乘せさせていただく、もしくは当初予算で乗せていただいて審議していただいた後、議決をいただくというようなスケジュールというのが本来あるべき形だったと思います。この度レストランにつきましては、7月補正という、補正という形で上げさせていただいた経過もございまして、完成が1月末になってしまい、冬からの利用ということになってしまいました。ただレストランにつきましては、今多くのお客様、特に夏場、これまでレストランに関してもご説明させていただきましたように、待っていただくケースがございます。またレストランの行列を見て、諦めて帰っていらっしゃるお客様もいらっしゃったのが現状でございます。その辺りのお客様に入っていただけるよ

うな形で、季節問わず多くのお客様に入っていただけるレストランになればということで予算を上げさせていただき、議決をしていただいたとされているところでございます。今後も季節問わず、多くのお客様に入っていただけるレストランになるようにPR活動はしていかないといけないと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○大西委員長 岡本委員。

○岡本委員 予算の時に、私もそういう風に聞いたと思います。冷房だけではなくて、ちゃんと暖房の効果も上がるようにガラスで囲んだということは聞いたと思うんです。だからこそ、お聞きしてるというところなんですけれども。ただ現状、もしこの客数が大幅な増がなければ多分冬場はなくてもよかったよと言うか、場合によってはあそこの部分は締め切って暖房費を節約した方がいいよ、ぐらいい話になるかもしれないと思うんですが。そういう意味で、だから増築部分の効果というのは、これから特に夏場において発揮されるものであって。その部分でその町が投資した部分ですね。投資した部分の効果というのは、金額では返ってこないのが難しいですけども。それを回収しなければいけないという、そういう認識で良かったでしょうか。

○大西委員長 岡本委員、今もう現在作っておりますし、これからですね、やはり月曜日からウィークデーの場合と土日の場合とによって違うので。当初説明されたように、お客さんがいっぱいだったら帰ってしまうというのを目的としているので。やっぱり年間を通じて、冬場であっても多いという場合があると思うんですよ。やっぱり年間トータルを見て、何%アップしていくかというのは大事なので。昨日、今日の状況でもですね、結構もう外はいっぱいに入っているという状況です。ちょっと長い目で見ていただきたいと。もう少し、2、3ヶ月状況を見てからですね、もう一度ちょっとその時にお願いしたいと思いますが。よろしいでしょうか。ちょっと長い目で見ていただきたい。お願いします。

○岡本委員 はい。分かりました。

○大西委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 キャッシュレス還元事業について伺いたいと思います。町内の小売店20数店舗がこれに加入されておるということで。期間も6月末という期限も設けた中で、若干世の中的にはキャッシュレス決済に対しての雰囲気はトーンダウンしたところもあるかと思うんですが。道の駅ということで、まるとトマトさん。こちらの

方はキャッシュレス決済の還元事業に参加されています。道の駅としての対応というのは、やはり1つのやり方だと、額的にはどうか分かりませんが。やはり世の流れというか、そういう部分ですね、加入して推進すべきかと思うんですけど。いかがでしょうか。

○大西委員長 榎尾参事。

○榎尾参事 委員ご指摘の通り、今現在、直売所につきましてはキャッシュカードが使える。ただポイント還元のない状態になっております。レストランにつきましては、今現在、現金のみということでの取り扱いとなっております。今現在、運営会社とも話をして、多様なキャッシュレスに対応出来るような環境を整備していただくようお願いしているところではございます。ポイント還元につきましてもいろいろ話をしていきながら、消費者さんに利用していただけるような環境というのを作っていかないといけないとは思っております。

○大西委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 先程お話を伺いましたら、券売機を設置するというようなこともあったりしてですね。現実的に、では券売機でどうやって使うのか、キャッシュレスを行うのかというような現実的な話もあります。その辺が難しいところかもしれませんが、やはり時代と共に現金の扱いというのが、キャッシュレス化が進む中で対応の方も現実的な意味でですね。出来るか出来ないかと大体分かりますよね。今の券売機あたりを導入するのであれば、やっぱり違う新たなやり方というのにも必要になってくると思いますし。その辺りをしっかりと検討いただきたいと思います。

○大西委員長 榎尾参事。

○榎尾参事 先程お話ししていただきました点につきましても、運営会社とよく検討していきながら、利用してもらいやすい環境の方を作っていきたいと思います。どうもありがとうございます。

○大西委員長 では道の駅の件につきまして、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○大西委員長 では、次の生山定住団地の状況について報告をお願い致します。榎尾参事。

○榎尾参事 生山定住促進団地について報告をさせていただきます。平成29年4月から8区画を分譲しまして、昨年度末までで4区画の契約をいただいていたところ

でございます。本年度、令和元年度に入りまして 1 件の契約成立と、今現在、もう 1 件土地の賃貸借契約の手続きを進めさせていただいているところでございます。従いまして、早ければ今月末には 8 区画中 6 区画が埋まり、残り 2 区画になる予定となっております。契約になったところが全て川側の区画でございますので、今残っております 2 区画につきましては県道寄りの 2 区画が残っているような状況でございます。この 2 区画につきましても、ホームページや広報誌等で PR していきながら、全ての区画が埋まるように PR 活動の方をしていきたいと思っております。簡単ではございますが、生山定住促進団地の状況について報告致しました。

○大西委員長 ただいまの報告につきまして、ご質問等ありましたら。近藤委員。

○近藤委員 2 区画売れたということですけど。この内容についてですけど、これは町内移動ですか。それとも U ターン、I ターン、町外から帰って来られる方に渡ったのか。その点を若干お伺いします。

○大西委員長 榎尾参事。

○榎尾参事 2 件のうち 1 件につきましては、町内からの移動。もう 1 軒につきましては、U ターンということで確認しております。

○大西委員長 他にないですか。なければ、その他に入ります。榎尾参事。

○榎尾参事 本日の資料の 5 ページからご覧ください。ポケモンマンホールのポケふたのことにつきましてご報告させていただきます。この度、(株)ポケモン社から、とっとりふるさと大使のサンドなどのポケモンがデザインされましたポケモンマンホールポケふたが、鳥取県の市町村、14 市町村の方に寄贈をされました。ポケふたは 1 枚 1 枚がオリジナルのデザインで、それぞれ世界に 1 つだけのマンホールとなっております。日南町のポケふたでございますが、夏の夜空にありますヒメボタル、ゲンジボタルにちなんだホタルのポケモン、本日の資料の 8 ページをご覧ください。ホタルのポケモンのバルビートとイルミーゼとサンドがデザインされたポケふたの方が寄贈されます。こちらのポケふたにつきましては、令和 2 年 3 月 27 日に道の駅にちなん日野川の郷の近隣の町有地の方に設置するように予定しております。

○大西委員長 ただいまのポケふたで何か質問はありますか。ないようでしたら、次に副町長から報告事項がありますのでお願いします。丸山副町長。

○丸山副町長 時間をいただきまして、ありがとうございます。本委員会は、本年度最後の会ではなかろうかと推測しております。そういう意味も含めまして、大西委

員長他、皆さんにおきましては大変お世話になりました。まだ令和２年度予算が承認されてはおりませんが、一言来年以降についても発言をさせていただきたいと思います。先ほども話がありましたように、定住、雇用、I・U・J ターン対策等の良い影響かもしれませんが、近年、住まいが不足傾向にあります。日南町内に勤務、入学が決まっても気に入って住む所がなくて、米子方面に居住されて通われる方もおられる予定になっておりますし、おられます。新年度におきましては、病院の住宅建築対策の計画や、引き続き空き家対策も行っていきたいと考えておるところでありますけれども。先ほども言いましたように、せっかく縁あって日南町で生活されるところであります。現在も分譲対策を先程もありましたように、あと２区画あるんですけれども。そういう分譲対策も行っていきますけれども。さらにこの中心地域内に分譲地の造成とか、その中にアパートの建築を募集したいというようなことも含めてやればと考えておりまして、住まいについて検討をしたいと町長とも考えておるところであります。また大田原地区、具体的に言えば道の駅の周辺における土地や建物の今後の計画、方向性についても、この委員会、あるいは総務教育常任委員会の案件になるかも分かりませんが、来年度検討、方向性を進めて、住まいについて考えていきたいと町長とも協議をしております。本日も申し上げるということの指示がありましたので、この場を借りまして今年度のお礼と、そして来年度に向けての考えについて発言させていただきました。よろしくお願い致します。ありがとうございました。

○大西委員長　　ただいま副町長から報告事項がございましたが、これにつきまして皆様方からご質問等ありましたら。岩崎委員。

○岩崎委員　　先程副町長の方から、また分譲地も検討するというお話でしたが。現在、今報告がありました通り、生山の定住団地８区画のうち、やっと６区画が何とか目処がついたということの中で、まだ２区画も残っておる。それからこの定住に関しては、やはりその即効性が必要だと思います。いわゆる分譲してですね、そこにまた家を建てると。もちろん財源的なものも必要ですし時間も掛かります。求められるのは、やっぱりどうもその定住の分譲地ではないような気がするんですけれども、どうでしょうか。

○大西委員長　　丸山副町長。

○丸山副町長　　そこの辺についてもいろいろ議論はしておりますし、それから検討もしております。分譲というところも、先程もアパートのことも申し上げましたけども、もしかしたらその分譲地の中でアパートを建築してくださったり、いろいろなところもあると思いますけれども。いろいろな面において、その住まいというところを考えながら、具体的に言えば出来たら生山の駅に近い所を交通の便の中心地等々考えて行こう。具体的には予算にもそんなにしてはいませんが。本当に住んでもらう所が少なくなっておりますので、その部分について中心地あるいは総務教育常任委員会あたりで、また私たちの計画について報告をさせていただきたいと思います。ご意見をまた頂戴をしたいと思っておるところでありますので、発言させていただきました。よろしくお願い致します。

○大西委員長　　岩崎委員。

○岩崎委員　　副町長、中心地域を中心にとのお話なんですけども。実際には農業で来られた方とかというのは、やはり中心地から通うというのは現実的でないということもございます。やはり各地域にですね、仕事の職種によりまして、やはり中心地でもいい場合もありますし、そうでない各地域に根付いた形の定住というのにも必要だと思います。そこの辺りもやはり考えていただきながら、新たなその空き家の活用とか、そういうところも含めて検討していただきたいと思います。

○大西委員長　　丸山副町長。

○丸山副町長　　ご意見ありがとうございます。そのような考え方を持っておりますので、いろいろと検討させてやって、報告させてやってください。よろしくお願い致します。

○大西委員長　　他、皆さんからないですか。ではちょっと私の方から発言させてください。特にこの今、住宅問題で話は出ましたが、やはりいろいろ計画、10年計画、5年計画、いろいろな計画を作っている中で、今、突如出てきた課題が出ました。やはり計画性を持って、目的を持って、まず議会にですが、早急にいろいろな面でご説明なりをしていただきたいと思います。それをよろしくお願い致します。その他、皆さんからご意見ございませんか。古都委員。

○古都委員　　言い忘れておりましたけれども。先程のいわゆる割り箸の話と同じでございます。先程説明があった券売機あたりも同じような事になるので。テレビを見ておりましたら、中国の方では爪楊枝が横に置いてあってですね。爪楊枝で押すと

というようなことで、直接触らないということがあったと思うんですが。そこの辺はどこまでやるのか分かりませんが。アルコールで拭くとかですね。時間を見てですね。本当券売機については、本当に箸の箱でなくてですね。すごい人数が触るようになるわけですね。1つ検討しておいてください。

○大西委員長 榎尾参事。

○榎尾参事 ありがとうございます。その辺りも含めて運営会社でよく協議した上でどのような対策がいいのか、いろんな対策を考えて講じていきたいと思います。ありがとうございます。

○大西委員長 皆さんから他はないですか。なければ、中心地域整備に関する調査特別委員会を閉会致します。お疲れ様でございました。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

委員長

副委員長